



2019年11月12日

各 位

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
 代表者名 代表取締役社長 長 井 啓
 (コード番号 : 6324)
 問合せ先 取 締 役 丸 山 顕
 執 行 役 員 上 條 和 俊
 TEL03-5471-7810

第2四半期受注高・売上高実績(単体)について

当社の2020年3月期 第2四半期(2019年7月1日～2019年9月30日)の受注高・売上高実績(単体)を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 受注高実績

(金額単位:百万円)

区 分 製品区分	第2四半期			第1～第2四半期累計	
	金 額	前年同期 比 (%)	前四半期 比 (%)	金 額	前年同期 比 (%)
減 速 装 置	2,470 (738)	47.1 (56.8)	119.2 (121.7)	4,542 (1,345)	34.5 (51.3)
メカトロニクス製品	621 (191)	66.6 (46.2)	81.0 (136.7)	1,388 (331)	53.8 (34.0)
合 計	3,092 (930)	50.0 (54.2)	108.9 (124.5)	5,931 (1,677)	37.7 (46.6)

注)括弧内の数字は輸出受注高であります。

2. 売上高実績

(金額単位:百万円)

区 分 製品区分	第2四半期			第1～第2四半期累計	
	金 額	前年同期 比 (%)	前四半期 比 (%)	金 額	前年同期 比 (%)
減 速 装 置	3,556 (705)	31.2 (33.1)	70.9 (51.9)	8,569 (2,064)	38.7 (42.3)
メカトロニクス製品	956 (253)	62.5 (48.4)	95.5 (62.6)	1,957 (658)	63.1 (55.8)
合 計	4,512 (958)	34.9 (36.1)	75.0 (54.3)	10,527 (2,722)	41.7 (45.0)

注)括弧内の数字は輸出売上高であります。

3. 第2四半期の概況

- (1) 当第2四半期の受注高は30億92百万円となり、前年同期比では減少しましたが、前四半期比では2四半期連続で増加に転じ、悪化していた受注環境に底入れの兆しが見られました。
- (2) 用途別の受注動向につきましては、前年同期比では産業用ロボット向け、半導体製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなど主要用途全般が減少しました。前四半期比では光学機器向け、車載向け、石油掘削装置向けは減少しましたが、産業用ロボット向け、半導体製造装置向け、医療機器向けなどが増加しました。

- (3) 前年同期比で受注高が減少したのは、米中貿易摩擦の影響などによる設備投資の手控えや見送りが長期化していることに加え、当社グループのお客様や代理店各社における当社製品の在庫調整が行われていることが主な要因です。一方、前四半期比で受注高が増加したのは、一部のお客様において、当社製品に係る在庫調整が終了しつつあることから、緩やかな受注の回復が見られたものと推定しております。
- (4) 当第2四半期において、前四半期以前の受注分のうち、一部のお客様の生産計画や製品仕様の変更などを主因とした受注の取り消しが93百万円発生しておりますが、当第2四半期における受注活動の結果と実需を適切に表すため、上記表中の受注実績は当該取り消し額を差し引く前の金額を記載しております。
- (5) 輸出受注高は、前年同期比では減少しましたが、前四半期比では増加しました。地域別では、前年同期比では中国、北米、欧州、台湾などほぼ全ての地域において減少しました。前四半期比では中国は減少しましたが欧州、北米をはじめ中国以外の地域は増加しました。
- (6) 当第2四半期の売上高は、前年同期比では65.1%減少、前四半期比では25.0%減少の45億12百万円となりました。

本資料に記載の数値は、会計監査人による監査を受けておりませんので、正式な決算数値とは差異が生じる可能性があります。

以上